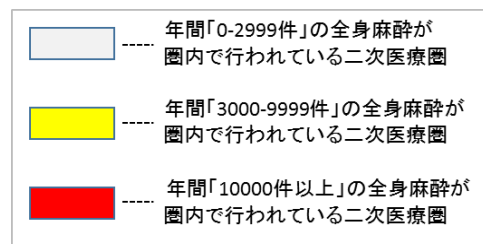
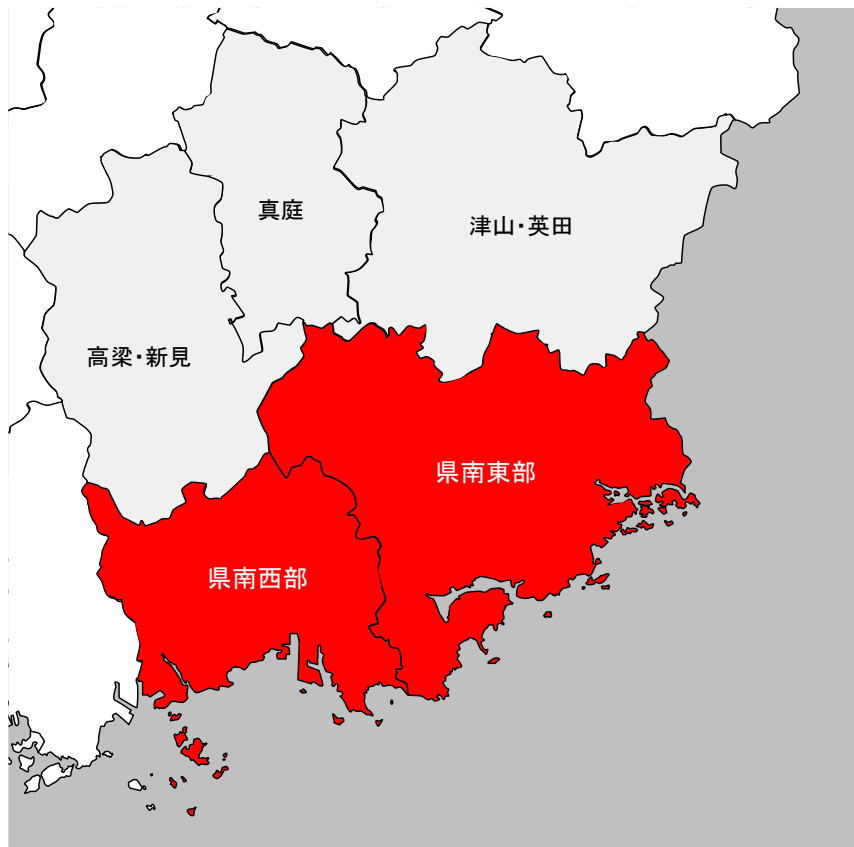


33. 岡山県



目次

岡山県	33	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	33	-	7
1. 県南東部医療圏	33	-	19
2. 県南西部医療圏	33	-	23
3. 高梁・新見医療圏	33	-	27
4. 真庭医療圏	33	-	31
5. 津山・英田医療圏	33	-	35

33. 岡山県

(岡山県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 岡山県は、総人口約1,888千人(2020年)、面積7,107km²、人口密度は266人/km²である。

*人口の将来予測： 岡山県の総人口は2030年に1,797千人へと減少し(2020年比-5%)、2045年に1,620千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の304千人が、2030年にかけて363千人へと増加し(2020年比+19%)、2045年には338千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 岡山県の一人当たり医療費(国保)は426千円(偏差値62)、介護給付費は292千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数58、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 岡山県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、32,078人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が18,664床(偏差値54)、高齢者住宅等が13,414床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、26,242人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設50、介護医療院50、有料老人ホーム48、軽費ホーム60、グループホーム60、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2,530人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

2. 推移

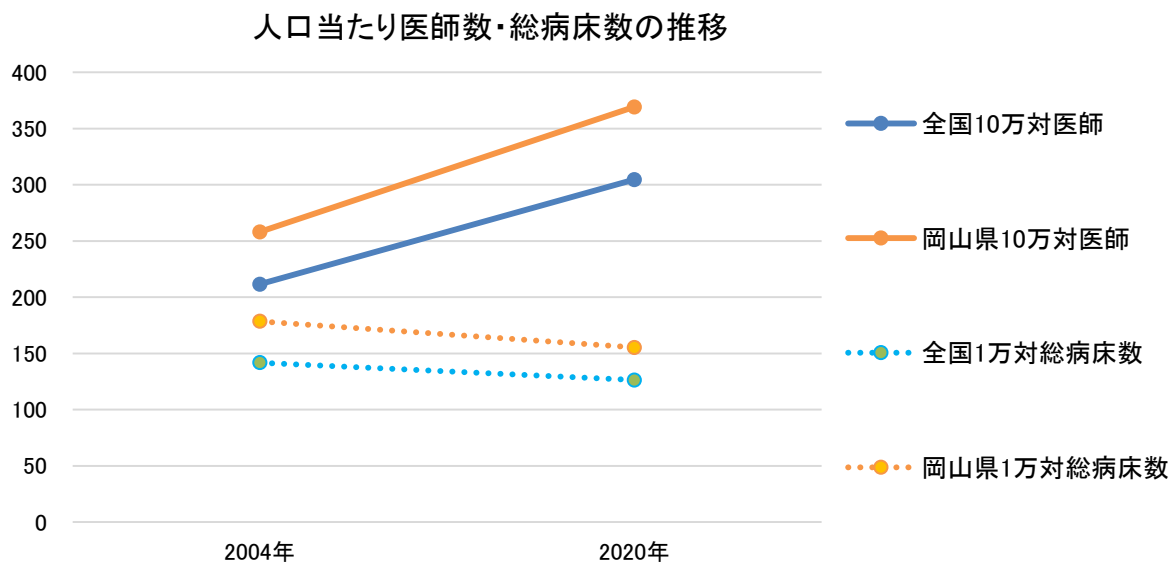
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は185(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2020年に161(人口10万人当たり8.5病院(全国平均6.5)偏差値55)となり、16年間で24病院が減少した。

2004年の診療所数は1,624(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2020年に1,637(人口10万人当たり87診療所(全国平均81)偏差値53)と、13診療所が増加した。

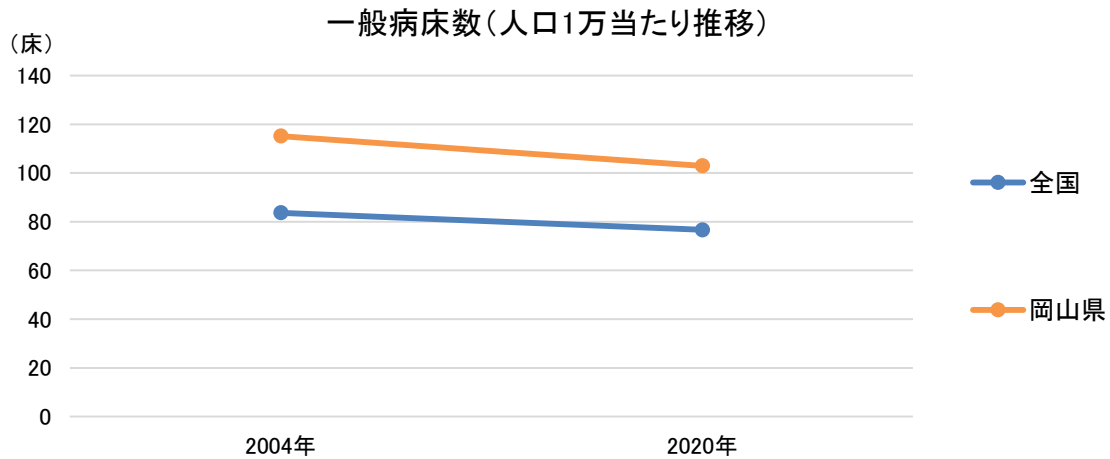
2004年の総病床数は34,944床(人口1万人当たり179(全国平均142)偏差値57)であったが、2020年に29,344床(人口1万人当たり155(全国平均126)偏差値55)と、5,600床の減少、率にして16%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は5,051人(人口10万人当たり258人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2020年に6,975人(人口10万人当たり369人(全国平均305人)偏差値57)と、1,924人の増加、率にして38%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



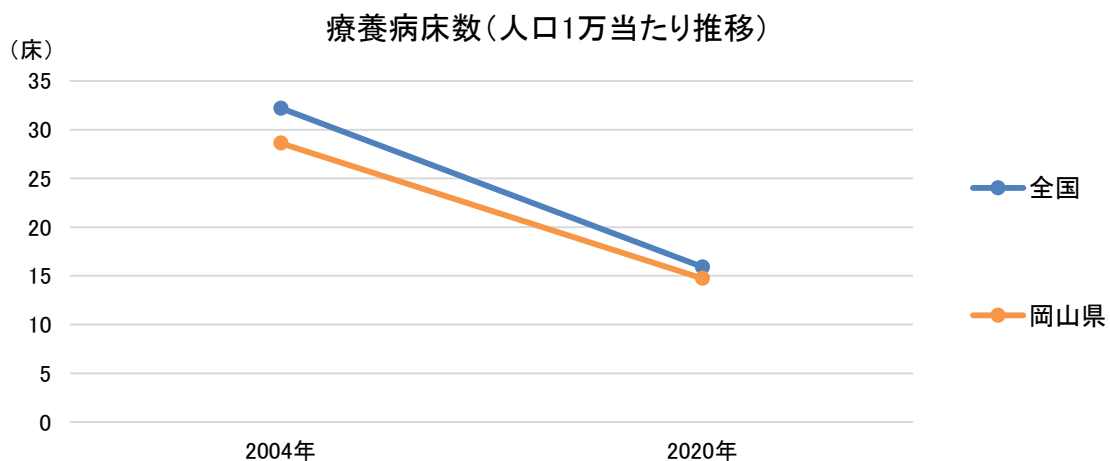
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は22,540床(人口1万人当たり115(全国平均84)偏差値61)であったが、2020年に19,446床(人口1万人当たり103(全国平均77)偏差値60)と、3,094床の減少、率にして14%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は6,112床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に4,485床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均16)偏差値49)と、1,627床の減少、率にして27%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 33-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
岡山県	1,888	20位	7,107	17位	265.7		30%
県南東部	917	49%	1,899	27%	482.6	地方都市型	28%
県南西部	698	37%	1,124	16%	620.5	地方都市型	30%
高梁・新見	57	3%	1,340	19%	42.6	過疎地域型	41%
真庭	44	2%	896	13%	48.6	過疎地域型	40%
津山・英田	173	9%	1,848	26%	93.8	過疎地域型	34%
出典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資_図表 33-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
岡山県	1,888	1,797	1,620	304	363	338	-5%	-10%	19%	-7%
県南東部	917	889	821	137	167	162	-3%	-8%	22%	-3%
県南西部	698	667	605	111	136	127	-4%	-9%	23%	-7%
高梁・新見	57	46	33	14	14	11	-19%	-28%	0%	-21%
真庭	44	39	31	10	11	9	-11%	-21%	10%	-18%
津山・英田	173	155	130	32	35	30	-10%	-16%	9%	-14%
出典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

資_図表 33-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)	
岡山県	426	62	1.101	178	60	1.170	219	61	1.052	292	59	
県南東部	422	61	1.114	175	59	1.173	217	60	1.068	289	58	
県南西部	423	61	1.078	175	59	1.132	219	61	1.040	282	56	
高梁・新見	469	71	1.131	216	67	1.322	228	66	1.024	332	71	
真庭	443	66	1.083	204	61	1.264	214	58	0.971	306	63	
津山・英田	440	65	1.101	189	63	1.197	222	63	1.037	314	66	
出典	<一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで) ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。											

33.岡山県(2022年版)

資_図表 33-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者医療費			入院費			入院外+調剤		
	(単位:千円)	偏差値*全国は標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値*全国は標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値*全国は標準偏差	地域差指数
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
岡山県	981	54	1.049	527	55	1.101	417	48	0.992
県南東部	1,008	56	1.086	537	56	1.134	430	51	1.029
県南西部	960	52	1.035	513	54	1.088	410	46	0.977
高梁・新見	961	52	0.998	547	57	1.073	388	40	0.929
真庭	912	48	0.940	522	55	1.024	365	34	0.860
津山・英田	971	53	1.007	522	55	1.038	417	47	0.978
出典	＜一人あたり後期高齢者医療費＞令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 33-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
岡山県	161	2.0%	8.5	55	1,637	1.6%	87	53
県南東部	76	47%	8.3	54	869	53%	95	57
県南西部	53	33%	7.6	53	505	31%	72	45
高梁・新見	8	5%	14.0	68	61	4%	107	63
真庭	7	4%	16.1	73	44	3%	101	60
津山・英田	17	11%	9.8	58	158	10%	91	55
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 33-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
岡山県	1,637	1.6%	87	53	1,498	1.6%	79	52	139	2.2%	7.4	54
県南東部	869	53%	95	57	795	53%	87	55	74	53%	8.1	55
県南西部	505	31%	72	45	465	31%	67	45	40	29%	5.7	51
高梁・新見	61	4%	107	63	57	4%	100	62	4	3%	7.0	54
真庭	44	3%	101	60	41	3%	94	59	3	2%	6.9	53
津山・英田	158	10%	91	55	140	9%	81	52	18	13%	10.4	60
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 33-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
岡山県	27,355	1.8%	1,449	55	1,989	2.3%	105	54	29,344	1.8%	1,554	55
県南東部	13,850	51%	1,511	56	1,020	51%	111	55	14,870	51%	1,622	57
県南西部	9,574	35%	1,372	54	613	31%	88	52	10,187	35%	1,460	54
高梁・新見	872	3%	1,526	57	48	2%	84	52	920	3%	1,610	56
真庭	767	3%	1,762	62	38	2%	87	52	805	3%	1,849	61
津山・英田	2,292	8%	1,322	53	270	14%	156	60	2,562	9%	1,478	54
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 33-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
岡山県	17,783	2.0%	942	60	4,159	1.4%	220	50	5,272	1.6%	279	51
県南東部	9,296	52%	1,014	64	1,502	36%	164	46	2,964	56%	323	53
県南西部	6,538	37%	937	60	1,638	39%	235	50	1,363	26%	195	47
高梁・新見	399	2%	698	50	233	6%	408	60	240	5%	420	57
真庭	425	2%	976	62	172	4%	395	59	170	3%	390	56
津山・英田	1,125	6%	649	48	614	15%	354	57	535	10%	309	52
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 33-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69	(53)	74,859		59	(78)
岡山県	1,260	1.4%	67	49	2,676	3.6%	142	61
県南東部	559	44%	61	48	1,165	44%	127	59
県南西部	602	48%	86	53	876	33%	126	59
高梁・新見	0	0%	0	37	136	5%	238	73
真庭	0	0%	0	37	235	9%	540	112
津山・英田	99	8%	57	48	264	10%	152	62
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

資_図表 33-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
岡山県	7,023	6,141	553	20,221	11,608	3,526	34.6%	46	13.6%	54
県南東部	5,570	5,078	188	8,300	4,260	1,289	54.4%	54	12.7%	53
県南西部	1,084	871	188	8,440	5,694	1,373	13.3%	38	12.0%	53
高梁・新見	96	54	42	776	345	191	13.5%	38	18.0%	56
真庭	105	50	55	612	303	139	14.2%	38	28.4%	60
津山・英田	168	88	80	2,093	1,006	534	8.0%	36	13.0%	53
出典	地方厚生局指定一覧令和4年4月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」・「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県/市区町村/日本赤十字社/済生会/独立行政法人地域医療機能推進機構/地方独立行政法人/独立行政法人国立病院機構/国家公務員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類)。これら以外を民間病院としている。指定一覧掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

資_図表 33-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
岡山県	39,380	1.7%	2,085	53	12,732	1.5%	674	50
県南東部	23,272	59%	2,539	59	5,964	47%	651	49
県南西部	13,558	34%	1,944	51	5,172	41%	741	53
高梁・新見	294	1%	514	34	108	1%	189	32
真庭	193	0%	443	33	180	1%	413	41
津山・英田	2,063	5%	1,190	42	1,308	10%	754	53
出典	令和3年度病床機能報告(令和2年4月~令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12			

資_図表 33-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
岡山県	6,975	1.8%	369	57	4,754	2.0%	252	58	2,221	1.6%	118	52
県南東部	3,775	54%	412	61	2,562	54%	279	61	1,214	55%	132	56
県南西部	2,495	36%	358	55	1,790	38%	257	58	705	32%	101	47
高梁・新見	148	2%	258	45	75	2%	130	42	73	3%	128	55
真庭	122	2%	280	47	75	2%	171	47	47	2%	109	49
津山・英田	435	6%	251	45	253	5%	146	44	182	8%	105	48
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 33-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
岡山県	633	1.9%	33.5	56	259	1.8%	13.7	55	195	1.7%	10.3	53
県南東部	391	62%	42.7	63	149	58%	16.3	60	112	57%	12.2	57
県南西部	205	32%	29.4	53	94	36%	13.5	55	67	34%	9.6	51
高梁・新見	7	1%	12.2	39	3	1%	5.2	38	3	2%	5.2	41
真庭	7	1%	16.1	42	2	1%	4.6	36	2	1%	4.6	39
津山・英田	23	4%	13.3	40	11	4%	6.3	40	11	6%	6.3	43
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 33-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
岡山県	92	1.5%	4.9	51	166	1.7%	8.8	53	134	1.8%	7.1	54
県南東部	62	67%	6.8	59	92	55%	10.0	57	73	54%	8.0	57
県南西部	23	25%	3.3	44	65	39%	9.3	55	52	39%	7.5	56
高梁・新見	2	2%	3.5	45	2	1%	3.5	36	2	1%	3.5	41
真庭	0	0%	0	30	1	1%	2.3	32	3	2%	6.9	53
津山・英田	5	5%	2.9	42	6	4%	3.5	36	4	3%	2.3	36
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 33-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
岡山県	195	2.0%	10.3	57	419	1.9%	22.2	56	291	1.7%	15.4	53
県南東部	126	65%	13.7	66	239	57%	26.1	62	170	58%	18.5	60
県南西部	50	26%	7.2	48	141	34%	20.2	54	96	33%	13.8	50
高梁・新見	5	3%	8.7	52	9	2%	15.7	47	6	2%	10.5	43
真庭	0	0%	0	28	6	1%	13.8	44	3	1%	6.9	36
津山・英田	14	7%	8.1	51	24	6%	13.8	44	16	5%	9.2	41
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

33.岡山県(2022年版)

資_図表 33-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数				脳神経外科 専門医数				放射線科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	6,279		5.0	(2.2)	7,149		5.7	(2.5)	6,391		5.1	(3.3)
岡山県	98	1.6%	5.2	51	108	1.5%	5.7	50	133	2.1%	7.0	56
県南東部	55	56%	6.0	55	60	56%	6.5	54	71	53%	7.7	58
県南西部	39	40%	5.6	53	37	34%	5.3	49	53	40%	7.6	58
高梁・新見	0	0%	0	28	3	3%	5.2	48	1	1%	1.7	40
真庭	0	0%	0	28	2	2%	4.6	46	1	1%	2.3	42
津山・英田	4	4%	2.3	38	6	6%	3.5	41	7	5%	4.0	47
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 33-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科 専門医数				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	7,997		6.3	(3.5)	1,820		1.4	(1.0)	4,704		3.7	(2.3)
岡山県	143	1.8%	7.6	54	29	1.6%	1.5	51	86	1.8%	4.6	54
県南東部	98	69%	10.7	63	16	55%	1.7	53	42	49%	4.6	54
県南西部	39	27%	5.6	48	12	41%	1.7	53	33	38%	4.7	54
高梁・新見	0	0%	0	32	0	0%	0	36	1	1%	1.7	41
真庭	0	0%	0	32	0	0%	0	36	1	1%	2.3	44
津山・英田	6	4%	3.5	42	1	3%	0.6	41	9	10%	5.2	56
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 33-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数				リハビリテーション科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	2,377		1.9	(1.4)	2,868		2.3	(1.6)
岡山県	56	2.4%	3.0	58	76	2.6%	4.0	61
県南東部	33	59%	3.6	62	46	61%	5.0	67
県南西部	20	36%	2.9	57	28	37%	4.0	61
高梁・新見	0	0%	0	37	2	3%	3.5	58
真庭	0	0%	0	37	0	0%	0	36
津山・英田	3	5%	1.7	49	0	0%	0	36
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

資_図表 33-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
岡山県	21,453	1.8%	1,136	57	17,232	1.9%	912	58	4,222	1.7%	224	54
県南東部	10,883	51%	1,187	59	8,758	51%	955	60	2,125	50%	232	55
県南西部	7,479	35%	1,072	55	6,068	35%	870	56	1,411	33%	202	51
高梁・新見	545	3%	953	51	426	2%	745	51	119	3%	208	52
真庭	468	2%	1,075	55	371	2%	853	55	97	2%	222	54
津山・英田	2,079	10%	1,199	60	1,609	9%	928	58	470	11%	271	60
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 33-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
岡山県	2,697	1.8%	143	54	4,281	1.3%	227	47
県南東部	1,337	50%	146	54	2,492	58%	272	52
県南西部	1,001	37%	144	54	1,313	31%	188	43
高梁・新見	82	3%	143	54	99	2%	173	42
真庭	56	2%	128	52	69	2%	158	40
津山・英田	221	8%	127	51	308	7%	178	42
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資_図表 33-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
岡山県	309	2.0%	1.0	55	49	2.9%	0.2	59	186	1.3%	0.6	44
県南東部	188	61%	1.4	64	18	37%	0.1	55	88	47%	0.6	45
県南西部	75	24%	0.7	46	22	45%	0.2	64	62	33%	0.6	42
高梁・新見	6	2%	0.4	41	2	4%	0.1	57	7	4%	0.5	40
真庭	11	4%	1.1	58	3	6%	0.3	79	11	6%	1.1	65
津山・英田	29	9%	0.9	52	4	8%	0.1	54	18	10%	0.6	42
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

33.岡山県(2022年版)

資_図表 33-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	32,078	1.8%	106	55	18,664	1.8%	61	54	13,414	1.7%	44	52
県南東部	14,714	46%	107	56	8,067	43%	59	52	6,647	50%	48	55
県南西部	11,105	35%	100	52	6,217	33%	56	50	4,888	36%	44	52
高梁・新見	1,445	5%	106	56	1,168	6%	86	71	277	2%	20	35
真庭	1,043	3%	108	57	848	5%	88	73	195	1%	20	34
津山・英田	3,771	12%	118	63	2,364	13%	74	63	1,407	10%	44	52
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 33-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護医療院定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	6,674	1.8%	22	54	10,886	1.8%	36	53	407	1.6%	1.3	50	697	1.8%	2.3	50
県南東部	2,972	45%	22	53	4,828	44%	35	53	17	4%	0.1	45	250	36%	1.8	49
県南西部	2,509	38%	23	55	3,229	30%	29	46	309	76%	2.8	55	170	24%	1.5	48
高梁・新見	320	5%	23	56	744	7%	55	72	32	8%	2.3	54	72	10%	5.3	59
真庭	180	3%	19	48	549	5%	57	74	11	3%	1.1	49	108	15%	11.2	76
津山・英田	693	10%	22	53	1,536	14%	48	65	38	9%	1.2	49	97	14%	3.0	53
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資_図表 33-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
岡山県	3,732	1.4%	12.3	48	1,014	4.2%	3.3	60	5,178	2.4%	17.0	60
県南東部	1,694	45%	12.3	48	441	43%	3.2	59	2,274	44%	16.6	59
県南西部	1,734	46%	15.6	52	240	24%	2.2	54	1,914	37%	17.2	60
高梁・新見	28	1%	2.1	37	60	6%	4.4	65	189	4%	13.9	54
真庭	0	0%	0	35	60	6%	6.2	73	135	3%	14.0	54
津山・英田	276	7%	8.6	44	213	21%	6.6	75	666	13%	20.8	67
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 33-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108		1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)
岡山県	3,490	1.3%	11.5	45	193	0.6%	0.6	44	3,297	1.4%	10.8	47
県南東部	2,238	64%	16.3	52	45	23%	0.3	43	2,193	67%	16.0	55
県南西部	1,000	29%	9.0	42	148	77%	1.3	48	852	26%	7.7	42
高梁・新見	0	0%	0	29	0	0%	0	41	0	0%	0	30
真庭	0	0%	0	29	0	0%	0	41	0	0%	0	30
津山・英田	252	7%	7.9	40	0	0%	0	41	252	8%	7.9	42
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 33-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国	75歳以上	偏差値	看護師数 (施設)	全国	75歳以上	偏差値	看護師数 (訪問)	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762		6.4	(2.1)	68,873		3.7	(1.3)
岡山県	3,300	1.7%	10.9	53	2,461	2.1%	8.1	58	839	1.2%	2.8	43
県南東部	1,384	42%	10.1	50	983	40%	7.2	54	401	48%	2.9	44
県南西部	1,220	37%	11.0	54	910	37%	8.2	58	310	37%	2.8	43
高梁・新見	142	4%	10.4	51	119	5%	8.7	61	23	3%	1.7	35
真庭	168	5%	17.4	81	131	5%	13.6	85	36	4%	3.8	50
津山・英田	385	12%	12.0	58	317	13%	9.9	67	69	8%	2.1	38
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 33-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国	75歳以上	偏差値	介護職員 数 (介護施設 等)	全国	75歳以上	偏差値	介護職員 数 (在宅)	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531		71	(12.4)	229,090		12.3	(5.1)
岡山県	28,772	1.8%	95	59	26,242	2.0%	86	62	2,530	1.1%	8.3	42
県南東部	13,042	45%	95	59	11,655	44%	85	61	1,387	55%	10.1	46
県南西部	9,977	35%	90	55	9,210	35%	83	59	767	30%	6.9	39
高梁・新見	1,296	5%	95	59	1,239	5%	91	66	57	2%	4.2	34
真庭	1,027	4%	106	68	984	4%	102	74	43	2%	4.5	35
津山・英田	3,431	12%	107	68	3,154	12%	98	72	277	11%	8.6	43
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

33.岡山県(2022年版)

資_図表 33-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
岡山県	28,202	1.9%	93	54	8,975	1.3%	30	45	13,942	1.2%	46	43
県南東部	13,083	46%	95	54	4,541	51%	33	48	7,546	54%	55	47
県南西部	12,000	43%	108	58	3,362	37%	30	46	4,422	32%	40	40
高梁・新見	271	1%	20	33	197	2%	14	34	373	3%	27	35
真庭	366	1%	38	38	255	3%	26	43	246	2%	25	34
津山・英田	2,482	9%	77	49	620	7%	19	38	1,355	10%	42	41
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二 次医療圏別に集計したもの							

資_図表 33-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%
岡山県	185	9.5	56	161	8.5	55	-24	-13%
県南東部	86	9.4	56	76	8.3	54	-10	-12%
県南西部	62	8.7	54	53	7.6	53	-9	-15%
高梁・新見	9	12.0	63	8	14.0	68	-1	-11%
真庭	8	15.2	71	7	16.1	73	-1	-13%
津山・英田	20	10.1	58	17	9.8	58	-3	-15%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 33-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%
岡山県	1,624	83	53	1,637	87	53	13	1%
県南東部	836	91	58	869	95	57	33	4%
県南西部	496	69	47	505	72	45	9	2%
高梁・新見	70	93	59	61	107	63	-9	-13%
真庭	50	95	59	44	101	60	-6	-12%
津山・英田	172	87	55	158	91	55	-14	-8%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 33-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
岡山県	5,051	258	56	6,975	369	57	1,924	38%
県南東部	2,685	293	60	3,775	412	61	1,090	41%
県南西部	1,817	254	55	2,495	358	55	678	37%
高梁・新見	116	155	43	148	258	45	32	27%
真庭	96	182	46	122	280	47	26	27%
津山・英田	337	170	45	435	251	45	98	29%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 33-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
岡山県	34,944	179	57	29,344	155	55	-5,600	-16%
県南東部	17,438	190	59	14,870	162	57	-2,568	-15%
県南西部	11,772	165	54	10,187	146	54	-1,585	-13%
高梁・新見	1,240	166	54	920	161	56	-320	-26%
真庭	1,164	220	64	805	185	61	-359	-31%
津山・英田	3,330	168	55	2,562	148	54	-768	-23%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 33-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
岡山県	22,540	115	61	19,446	103	60	-3,094	-14%
県南東部	11,709	128	66	10,142	111	63	-1,567	-13%
県南西部	7,785	109	59	7,053	101	59	-732	-9%
高梁・新見	549	73	46	447	78	51	-102	-19%
真庭	678	128	66	459	105	61	-219	-32%
津山・英田	1,819	92	53	1,345	78	50	-474	-26%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

33.岡山県(2022年版)

資_図表 33-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差 (18)	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差 (9)	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
岡山県	6,112	29	48	4,485	15	49	-1,627	-27%
県南東部	2,213	24	46	1,676	12	46	-537	-24%
県南西部	2,412	34	51	1,736	16	50	-676	-28%
高梁・新見	390	29	48	233	17	51	-157	-40%
真庭	266	29	48	176	18	52	-90	-34%
津山・英田	831	29	48	664	21	55	-167	-20%
出典	<療養病床数2004年> 平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年> 令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

33-1. けんなんとうぶ 県南東部医療圏

構成市区町村	北区 玉野市 和気町	中区 備前市 吉備中央町	東区 瀬戸内市	南区 赤磐市
--------	--	--	--	---

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(県南東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県南東部(岡山市北区)は、総人口約917千人(2020年)、面積1,899km²、人口密度は483人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県南東部の総人口は2030年に889千人へと減少し(2020年比-3%)、2045年に821千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の137千人が、2030年にかけて167千人へと増加し(2020年比+22%)、2045年には162千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県南東部の一人当たり医療費(国保)は422千円(偏差値61)、介護給付費は289千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が61(病院医師数61、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は59と多い。県南東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岡山済生会総合病院(標準群)、岡山赤十字病院(標準群・救命)、川崎医科大学総合医療センター(標準群)、NHO岡山医療センター(特定群)、岡山大学病院(大学本院群・救命)、1000例以上の岡山市立市民病院(標準群)、岡山労災病院(標準群)、岡山中央病院(標準群)、500例以上の心臓病センター榊原病院(標準群)、岡山旭東病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県南東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、14,714人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,067床(偏差値52)、高齢者住宅等が6,647床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11,655人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設45、介護医療院49、有料老人ホーム48、軽費ホーム59、グループホーム59、サ高住52である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,387人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(県南東部医療圏) 2. 推移

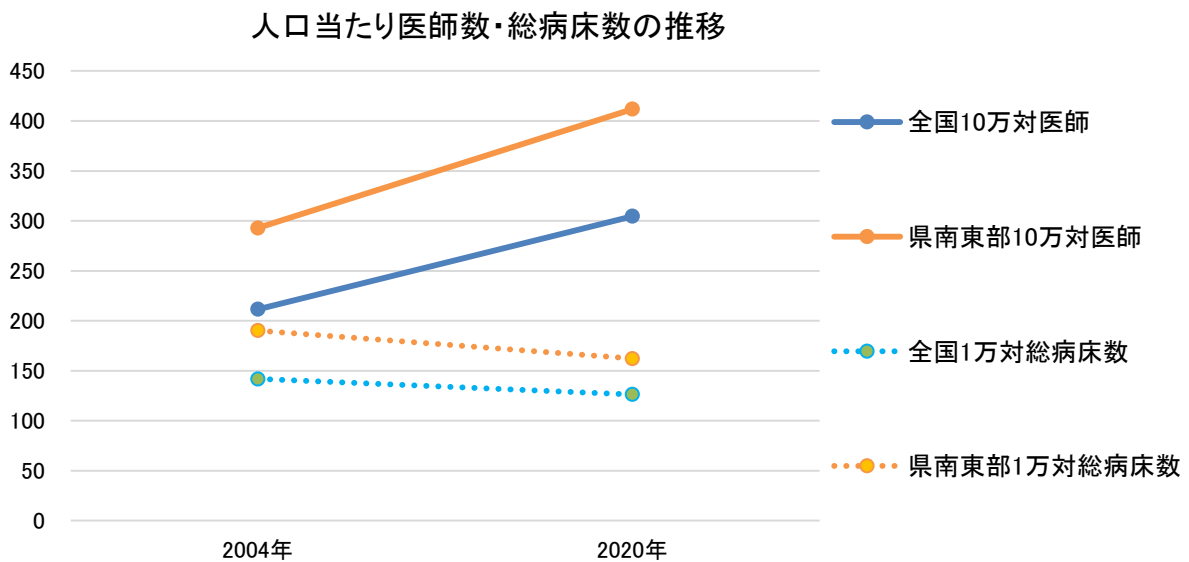
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は86(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2020年に76(人口10万人当たり8.3病院(全国平均6.5)偏差値54)となり、16年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数は836(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2020年に869(人口10万人当たり95診療所(全国平均81)偏差値57)と、33診療所が増加した。

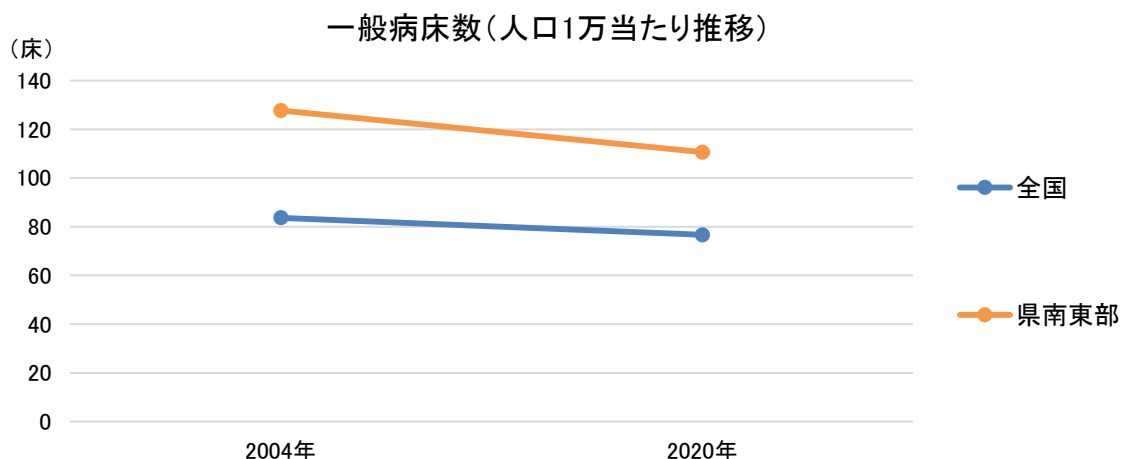
2004年の総病床数は17,438床(人口1万人当たり190(全国平均142)偏差値59)であったが、2020年に14,870床(人口1万人当たり162(全国平均126)偏差値57)と、2,568床の減少、率にして15%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は2,685人(人口10万人当たり293人(全国平均212人)偏差値60)であったが、2020年に3,775人(人口10万人当たり412人(全国平均305人)偏差値61)と、1,090人の増加、率にして41%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



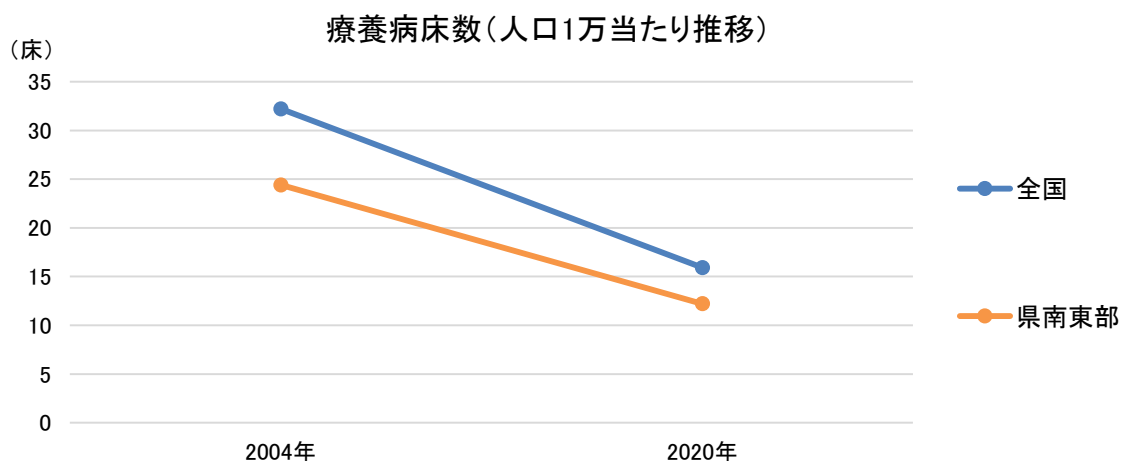
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は11,709床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2020年に10,142床(人口1万人当たり111(全国平均77)偏差値63)と、1,567床の減少、率にして13%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は2,213床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2020年に1,676床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均16)偏差値46)と、537床の減少、率にして24%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



33-2. けんなんせいふ 県南西部医療圏

構成市区町村 [倉敷市](#) [笠岡市](#) [井原市](#) [総社市](#)
[浅口市](#) [早島町](#) [里庄町](#) [矢掛町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(県南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県南西部(倉敷市)は、総人口約698千人(2020年)、面積1,124km²、人口密度は621人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県南西部の総人口は2030年に667千人へと減少し(2020年比-4%)、2045年に605千人へと減少する(2030年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の111千人が、2030年にかけて136千人へと増加し(2020年比+23%)、2045年には127千人へと減少する(2030年比-9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県南西部の一人当たり医療費(国保)は423千円(偏差値61)、介護給付費は282千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が55(病院医師数58、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。県南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の倉敷成人病センター(標準群)、倉敷中央病院(特定群・救命)、川崎医科大学附属病院(大学本院群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,105人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が6,217床(偏差値50)、高齢者住宅等が4,888床(偏差値52)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9,210人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設55、介護医療院48、有料老人ホーム52、軽費ホーム54、グループホーム60、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、767人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(県南西部医療圏) 2. 推移

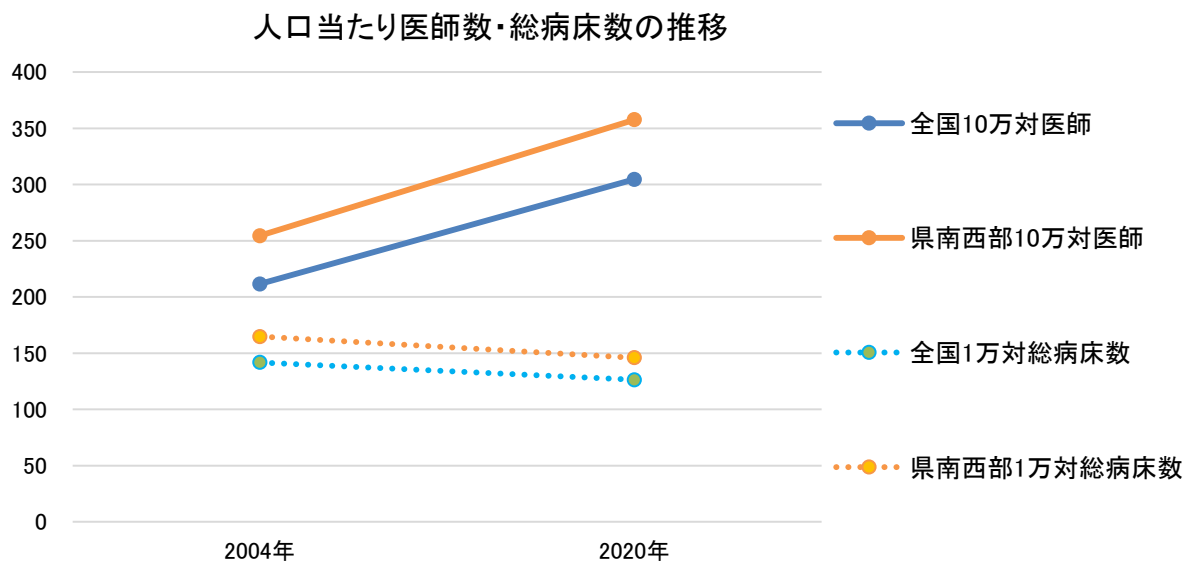
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は62(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2020年に53(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.5)偏差値53)となり、16年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数は496(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2020年に505(人口10万人当たり72診療所(全国平均81)偏差値45)と、9診療所が増加した。

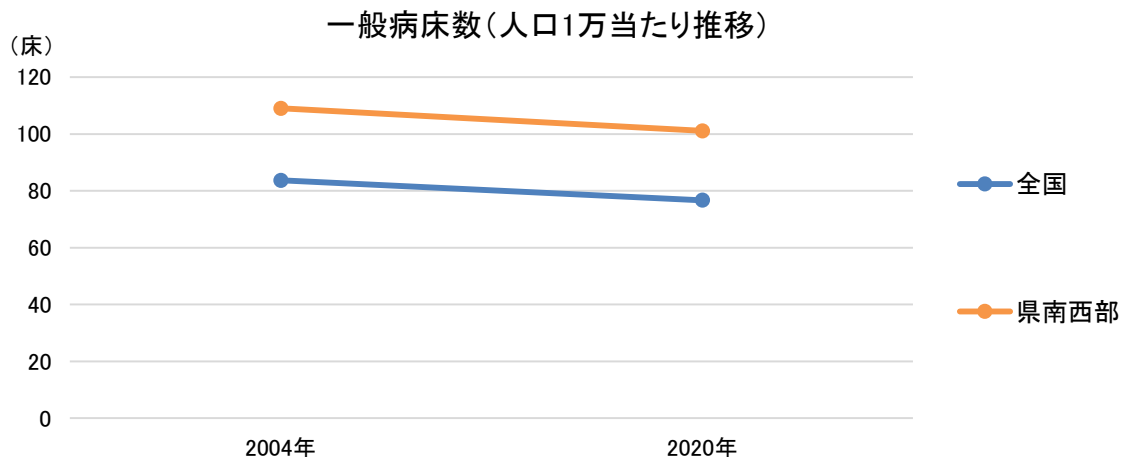
2004年の総病床数は11,772床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2020年に10,187床(人口1万人当たり146(全国平均126)偏差値54)と、1,585床の減少、率にして13%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,817人(人口10万人当たり254人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2020年に2,495人(人口10万人当たり358人(全国平均305人)偏差値55)と、678人の増加、率にして37%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



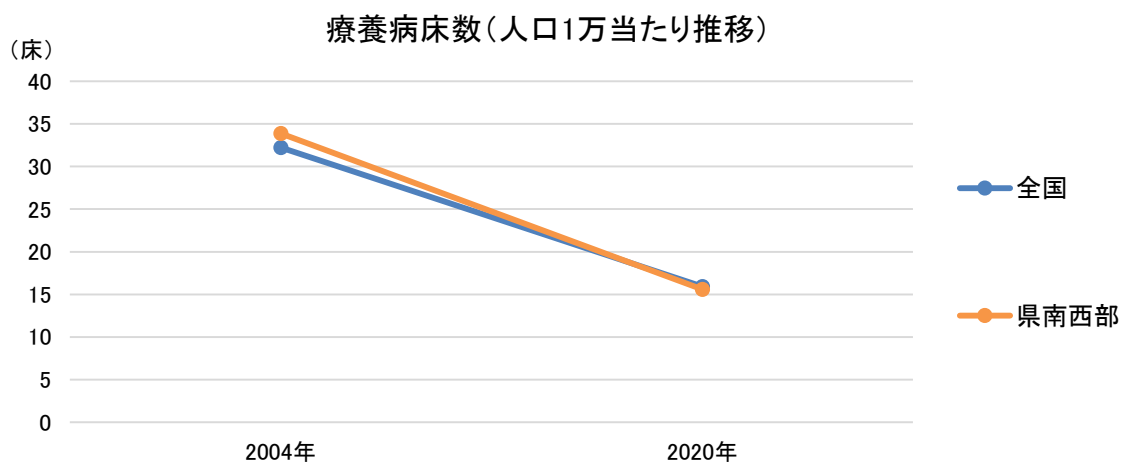
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は7,785床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2020年に7,053床(人口1万人当たり101(全国平均77)偏差値59)と、732床の減少、率にして9%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は2,412床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2020年に1,736床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均16)偏差値50)と、676床の減少、率にして28%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



33-3. たかはし にいみ 高梁・新見医療圏

構成市区町村 [高梁市](#) [新見市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(高梁・新見医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高梁・新見(高梁市)は、総人口約57千人(2020年)、面積1,340km²、人口密度は43人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高梁・新見の総人口は2030年に46千人へと減少し(2020年比-19%)、2045年に33千人へと減少する(2030年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の14千人が、2030年にかけて14千人とほぼ変わらず(2020年比±0%)、2045年には11千人へと減少する(2030年比-28%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高梁・新見の一人当たり医療費(国保)は469千円(偏差値71)、介護給付費は332千円(偏差値71)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数42、診療所医師数55)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。高梁・新見には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高梁・新見の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,445人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,168床(偏差値71)、高齢者住宅等が277床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,239人(75歳以上1,000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム72、介護療養型医療施設54、介護医療院59、有料老人ホーム37、軽費ホーム65、グループホーム54、サ高住なし(偏差値29)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、57人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

(高梁・新見医療圏) 2. 推移

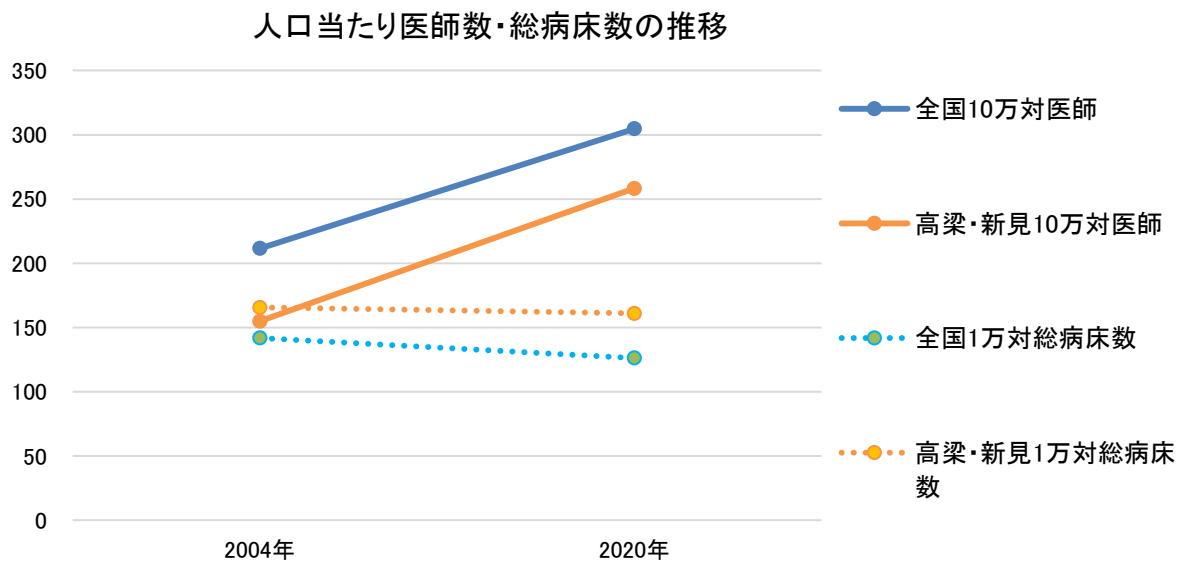
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は9(人口10万人当たり12病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2020年に8(人口10万人当たり14病院(全国平均6.5)偏差値68)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は70(人口10万人当たり93診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2020年に61(人口10万人当たり107診療所(全国平均81)偏差値63)と、9診療所が減少した。

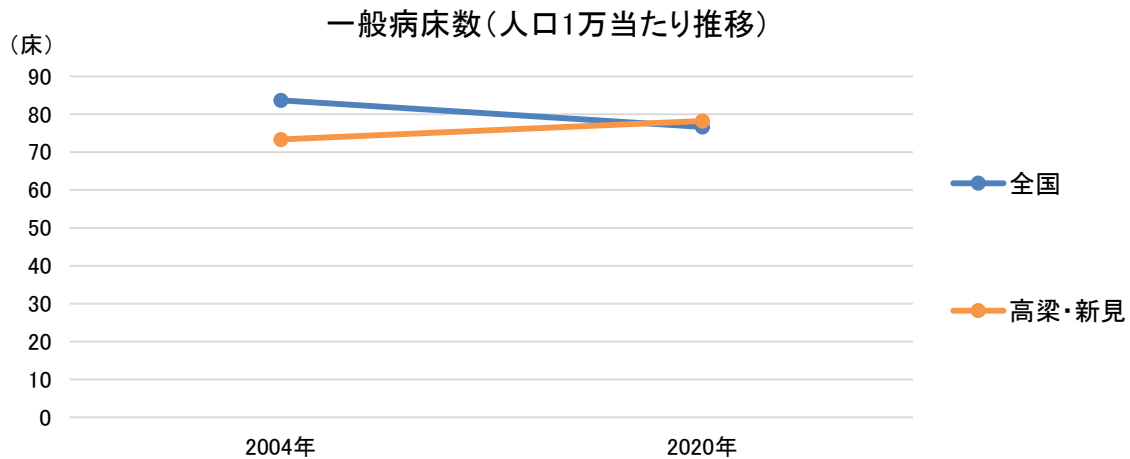
2004年の総病床数は1,240床(人口1万人当たり166(全国平均142)偏差値54)であったが、2020年に920床(人口1万人当たり161(全国平均126)偏差値56)と、320床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は116人(人口10万人当たり155人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2020年に148人(人口10万人当たり258人(全国平均305人)偏差値45)と、32人の増加、率にして27%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



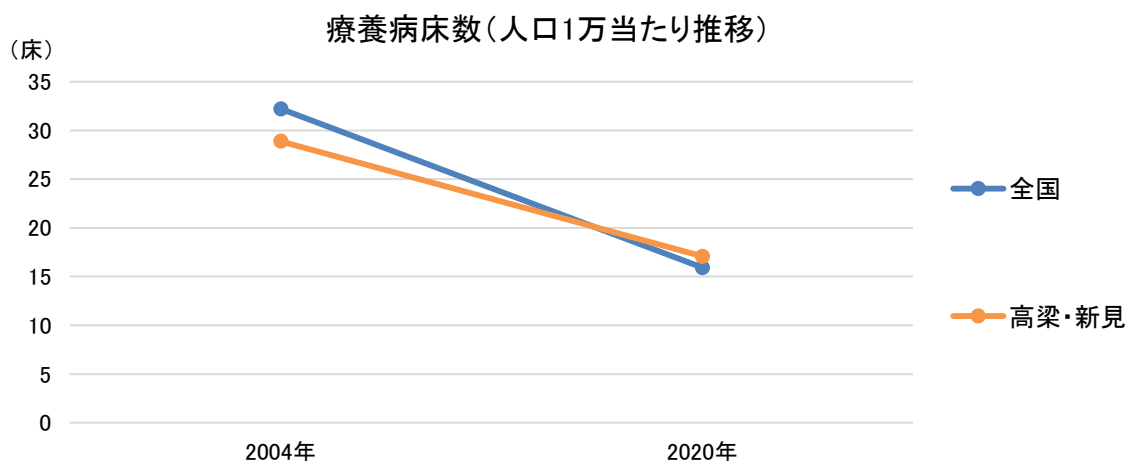
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は549床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2020年に447床(人口1万人当たり78(全国平均77)偏差値51)と、102床の減少、率にして19%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は390床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に233床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均16)偏差値51)と、157床の減少、率にして40%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



33-4. まにわ 真庭医療圏

構成市区町村 [真庭市](#) [新庄村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(真庭医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 真庭(真庭市)は、総人口約44千人(2020年)、面積896km²、人口密度は49人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 真庭の総人口は2030年に39千人へと減少し(2020年比-11%)、2045年に31千人へと減少する(2030年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の10千人が、2030年にかけて11千人へと増加し(2020年比+10%)、2045年には9千人へと減少する(2030年比-21%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 真庭の一人当たり医療費(国保)は443千円(偏差値66)、介護給付費は306千円(偏差値63)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は33と非常に少ない。真庭には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 真庭の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,043人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が848床(偏差値73)、高齢者住宅等が195床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、984人(75歳以上1,000人当たりの偏差値74)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム74、介護療養型医療施設49、介護医療院76、有料老人ホームなし(偏差値35)、軽費ホーム73、グループホーム54、サ高住なし(偏差値29)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値79と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、43人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(真庭医療圏) 2. 推移

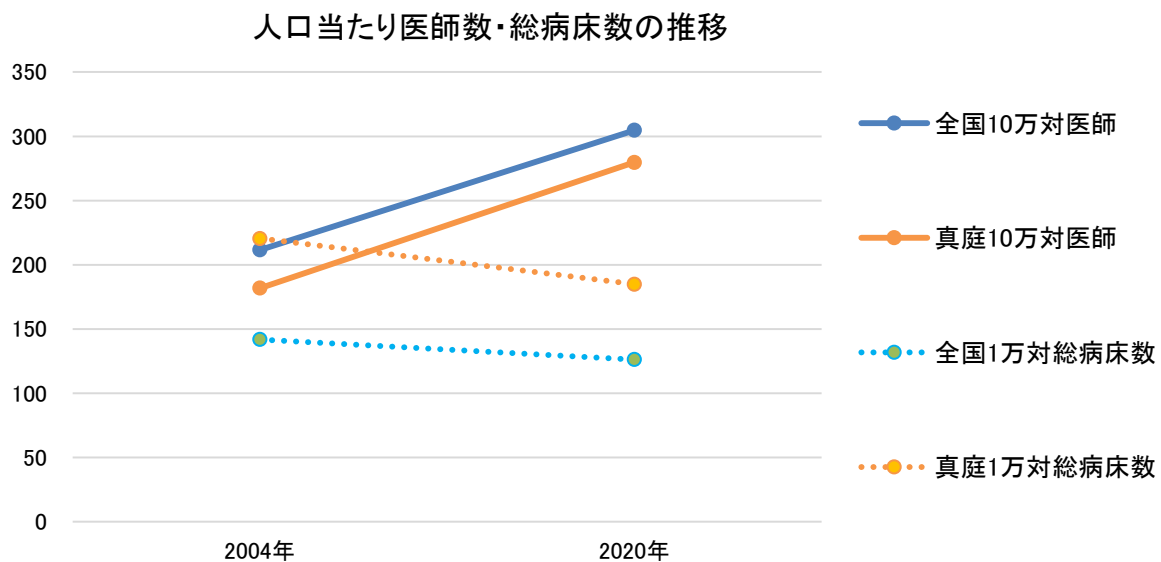
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は8(人口10万人当たり15.2病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2020年に7(人口10万人当たり16.1病院(全国平均6.5)偏差値73)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は50(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2020年に44(人口10万人当たり101診療所(全国平均81)偏差値60)と、6診療所が減少した。

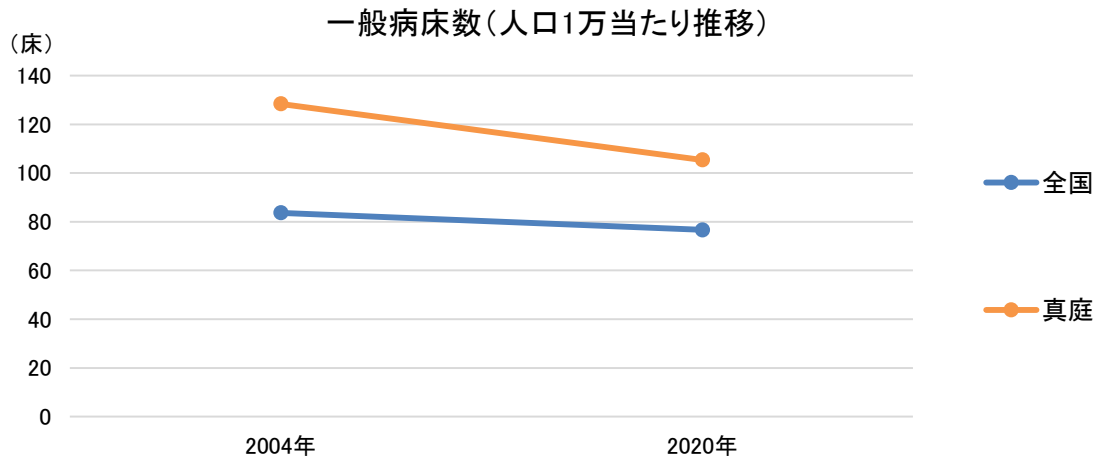
2004年の総病床数は1,164床(人口1万人当たり220(全国平均142)偏差値64)であったが、2020年に805床(人口1万人当たり185(全国平均126)偏差値61)と、359床の減少、率にして31%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は96人(人口10万人当たり182人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2020年に122人(人口10万人当たり280人(全国平均305人)偏差値47)と、26人の増加、率にして27%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



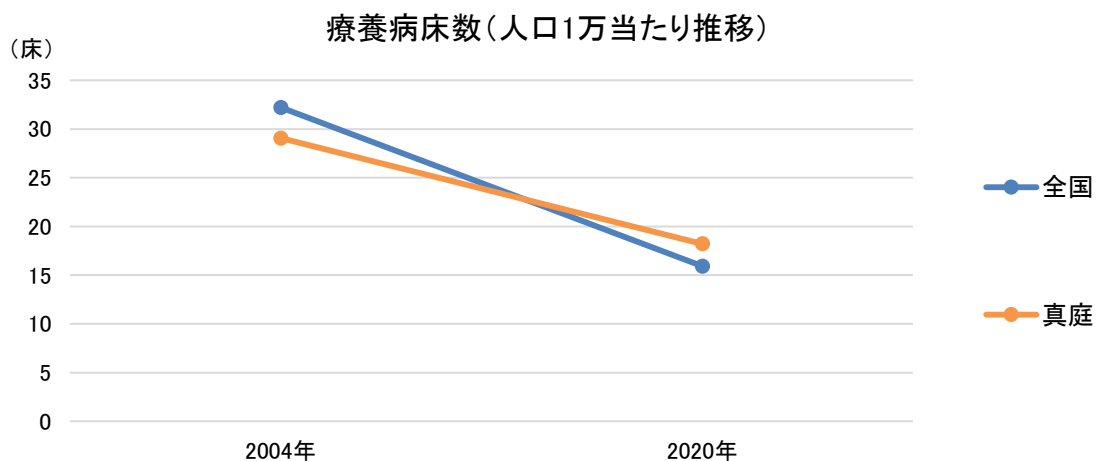
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は678床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2020年に459床(人口1万人当たり105(全国平均77)偏差値61)と、219床の減少、率にして32%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は266床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に176床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均16)偏差値52)と、90床の減少、率にして34%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



33-5. つ や ま あ い だ 津山・英田医療圏

構成市区町村	津山市	美作市	鏡野町	勝央町
	奈義町	西粟倉村	久米南町	美咲町

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(津山・英田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 津山・英田(津山市)は、総人口約173千人(2020年)、面積1,848km²、人口密度は94人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 津山・英田の総人口は2030年に155千人へと減少し(2020年比-10%)、2045年に130千人へと減少する(2030年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の32千人が、2030年にかけて35千人へと増加し(2020年比+9%)、2045年には30千人へと減少する(2030年比-16%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 津山・英田の一人当たり医療費(国保)は440千円(偏差値65)、介護給付費は314千円(偏差値66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。津山・英田には、年間全身麻酔件数が1000例以上の津山中央病院(特定群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 津山・英田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,771人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,364床(偏差値63)、高齢者住宅等が1,407床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,154人(75歳以上1,000人当たりの偏差値72)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設49、介護医療院53、有料老人ホーム44、軽費ホーム75、グループホーム67、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、277人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(津山・英田医療圏) 2. 推移

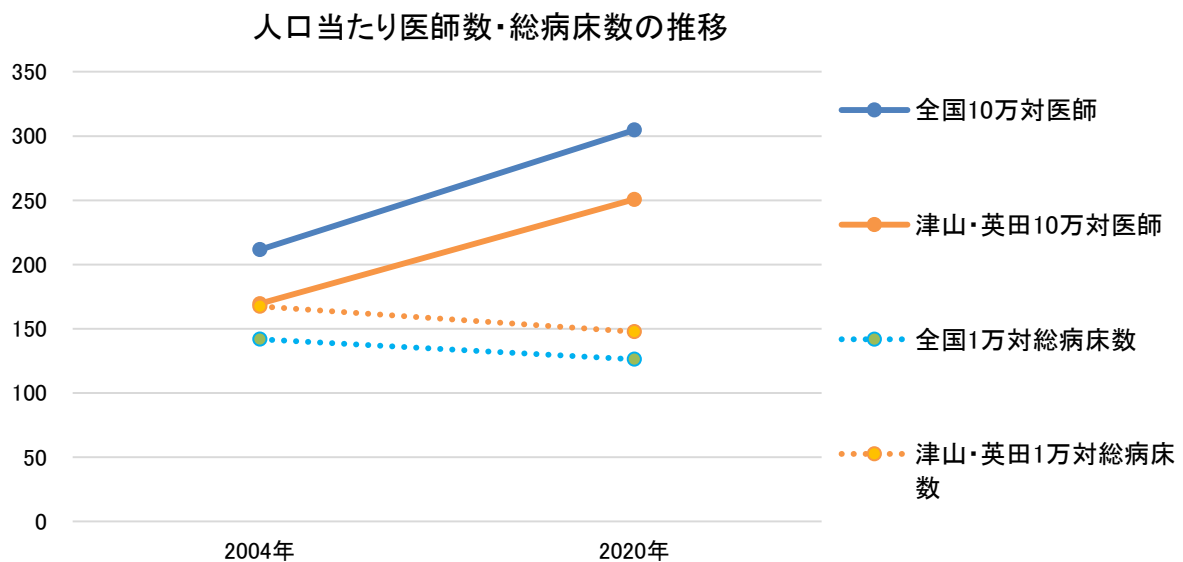
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は20(人口10万人当たり10.1病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2020年に17(人口10万人当たり9.8病院(全国平均6.5)偏差値58)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は172(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に158(人口10万人当たり91診療所(全国平均81)偏差値55)と、14診療所が減少した。

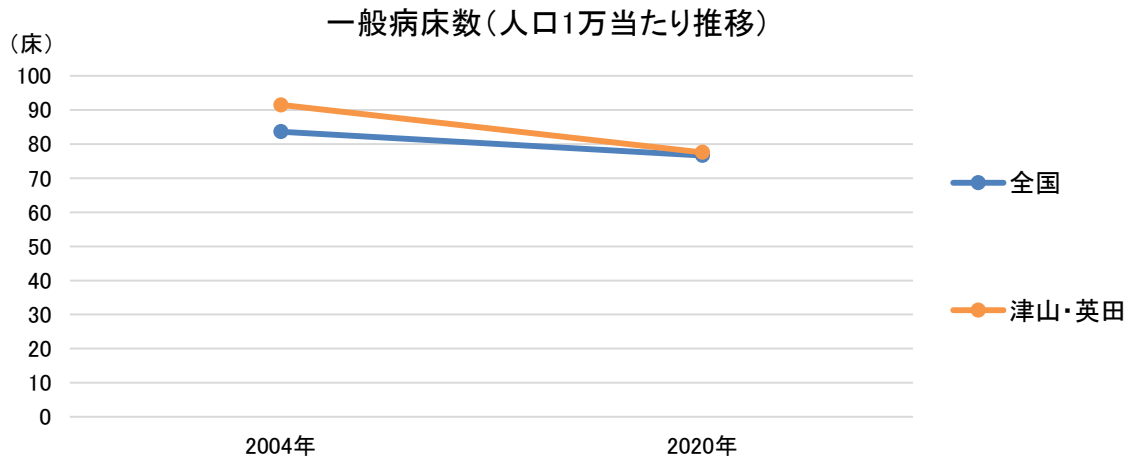
2004年の総病床数は3,330床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2020年に2,562床(人口1万人当たり148(全国平均126)偏差値54)と、768床の減少、率にして23%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は337人(人口10万人当たり170人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2020年に435人(人口10万人当たり251人(全国平均305人)偏差値45)と、98人の増加、率にして29%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,819床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2020年に1,345床(人口1万人当たり78(全国平均77)偏差値50)と、474床の減少、率にして26%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は831床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に664床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均16)偏差値55)と、167床の減少、率にして20%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

